

I. 次の曲中に指定した各音（イ）～（ホ）のドイツ音名を記せ。

II. 次に示された（イ）～（ホ）の2音間の音程を（A）欄に記せ。また、それと同じ音程をなす音を、（イ）～（ハ）については（B）欄に示された音の上方に、（二）・（ホ）についてはその下方に、全音符で記せ。

（イ） （ロ） （ハ） （二） （ホ）

III. 次に示された（イ）～（ホ）の2音間の転回音程を記せ。

（イ） （ロ） （ハ） （二） （ホ）


IV. 次の楽語の意味について、その右側に書かれた日本語が適当であれば○、誤りであれば×をそれぞれ記せ。

- | | | |
|------------------------------|-------|------------------|
| 1. con sordino | | 弱音器を使用して |
| 2. brillante | | 堂々と、壮大に |
| 3. rinforzando | | きわめて、次第に強く |
| 4. tranquillo | | 静かに・穏やかに |
| 5. Poco Adagio quasi Andante | | 速く、しかし、あまり速すぎぬよう |

V. 次の音階を、与えられた譜表上に全音符で、1. 2. は調号を用いて、3. 4. は調号を用いずに記せ。

(ただし、主音から主音まで、上行形のみ)

1.  を属音とする短調の平行調の音階

2.  を音階の第vi音とする長調の同主調の和声短音階

3.  を下属音とする長調の属調の音階

4.  を導音とする短調の下属調の旋律短音階

VI. 次に指定する和音を、1. ~ 3. は下線で指定された調の調号を用い、4. ~ 6. は調号を用いずに、与えられた譜表上に全音符で記せ。

1. cis moll (嬰ハ短調) のVI
2. H dur (ロ長調) の同主調のV₇
3. Ges dur (変ト長調) の属調のII₇
4. Fis (嬰へ) を第3音とする増三和音
5. As (変イ) を第7音とする短七の和音
6. G (ト) を根音とする減七の和音

VII. 次の1.～4.の和音について、文中の(a)・(b)に該当する調名(ドイツ語または日本語)または和音の音度記号を、(例)にならって記せ。

(例) 1. 2. 3. 4.

(a) (b)

(例) は、F dur (ヘ長調) の属調の II であり、e moll (ホ短調) の下屬調の IV である。

1. は、b moll (変口短調) の平行調の (a) であり、(b) の下屬調の VI である。
2. は、H dur (口長調) の属調の (a) であり、(b) の同主調の III である。
3. は、gis moll (嬰ト短調) の下屬調の (a) であり、(b) の平行調の I₇ である。
4. は、F dur (ヘ長調) の同主調の (a) であり、(b) の属調の II₇ である。

VIII. 次の楽譜について

1. (A) および (B) の調名を記せ。
2. (A) を調号を用いずに短6度高く移調せよ。
3. (B) を調号を用いて A dur (イ長調) に移調せよ。

(A)

(B)

楽典

昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部 (2025年度・総合型)

I.

(イ) _____ (ロ) _____ (ハ) _____ (ニ) _____ (ホ) _____

II.

(イ) _____ (ロ) _____ (ハ) _____ (ニ) _____ (ホ) _____

(A) _____

(B) 

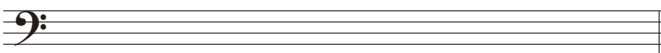
III.

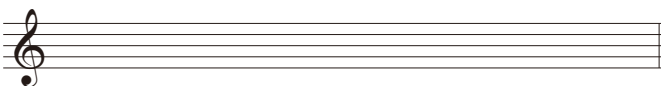
(イ) _____ (ロ) _____ (ハ) _____ (ニ) _____ (ホ) _____

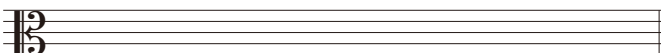
IV.

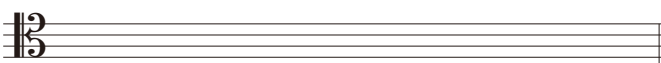
1	2	3	4	5

V.

1. 

2. 

3. 

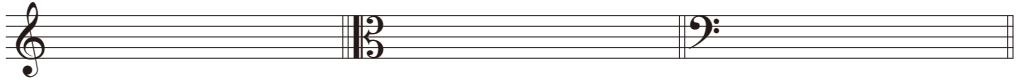
4. 

VI.

1.

2.

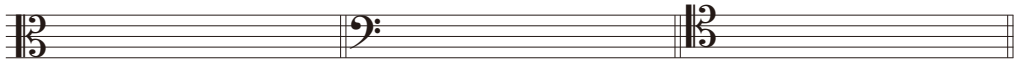
3.



4.

5.

6.



VII.

1.

2.

3.

4.

(a) _____

(b) _____

VIII.

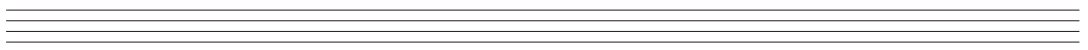
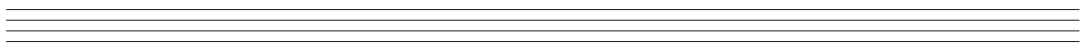
1.

(A) _____ (B) _____

2.



3.



I. 次の曲中に指定した各音 (イ) ~ (ホ) のドイツ音名を記せ。

II. 次に示された (イ) ~ (ホ) の2音間の音程を (A) 欄に記せ。また、それと同じ音程をなす音を、(イ) ~ (ハ) については (B) 欄に示された音の上方に、(ニ)・(ホ) についてはその下方に、全音符で記せ。

(イ) (ロ) (ハ) (ニ) (ホ)

III. 次に示された (イ) ~ (ホ) の2音間の転回音程を記せ。

(イ) (ロ) (ハ) (ニ) (ホ)

IV. 次の楽語の意味について、その右側に書かれた日本語が適当であれば○、誤りであれば×をそれぞれ記せ。


- | | | |
|-----------------------|-------|------------------|
| 1. mezza voce | | 全員で、全合奏で |
| 2. più <i>f</i> | | 今までより強く |
| 3. dolente | | 悲しげに |
| 4. Lento ma non tanto | | 速く、しかし、あまり速すぎぬよう |
| 5. rusticana | | 感情的に |

V. 次の音階を、与えられた譜表上に全音符で、1. 2. は調号を用いて、3. 4. は調号を用いずに記せ。

(ただし、主音から主音まで、上行形のみ)

1.  を音階の第 iii 音とする短調の平行調の音階

2.  を属音とする長調の下属調の音階

3.  を音階の第 ii 音とする短調の下属調の和声短音階

4.  を下属音とする短調の属調の旋律短音階

VI. 次に指定する和音を、1. ~ 3. は下線で指定された調の調号を用い、4. ~ 6. は調号を用いずに、与えられた譜表上に全音符で記せ。

1. fis moll (嬰へ短調) の VI
2. As dur (変イ長調) の下属調の II₇
3. H dur (ロ長調) の同主調の V₇
4. F (へ) を第 5 音とする短三和音
5. Ges (変ト) を第 7 音とする減七の和音
6. Dis (嬰二) を根音とする属七の和音

楽典

昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部(2025年度・学校推薦型・特待生)

I.

(イ) _____ (ロ) _____ (ハ) _____ (ニ) _____ (ホ) _____

II.

(イ) _____ (ロ) _____ (ハ) _____ (ニ) _____ (ホ) _____

(A) _____

(B) 

III.


(イ) _____ (ロ) _____ (ハ) _____ (ニ) _____ (ホ) _____

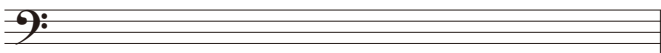
IV.

1	2	3	4	5

V.

1. 

2. 

3. 

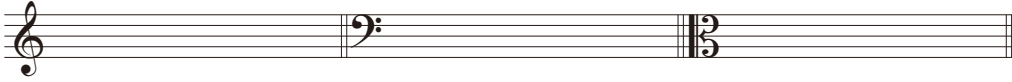
4. 

VI.

1.

2.

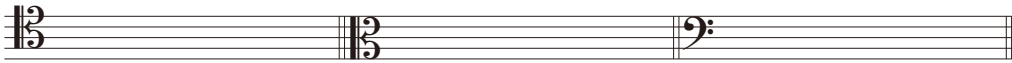
3.



4.

5.

6.



VII.

1.

2.

3.

4.

(a) _____

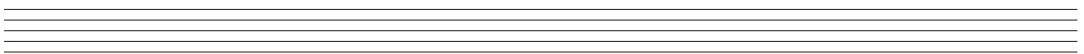
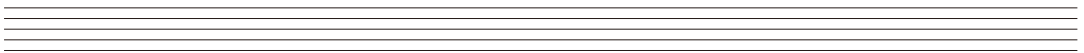
(b) _____

VIII.

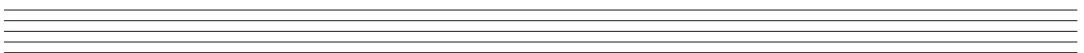
1.

(A) _____ (B) _____

2.



3.



I. 次の曲中に指定した各音 (イ) ~ (ホ) のドイツ音名を記せ。

II. 次に示された (イ) ~ (ホ) の 2 音間の音程を (A) 欄に記せ。また、それと同じ音程をなす音を、
(イ) ~ (ハ) については (B) 欄に示された音の上方に、(ニ)・(ホ) についてはその下方に、全音符で記せ。





III. 次に示された (イ) ~ (ホ) の 2 音間の転回音程を記せ。

IV. 次の楽語の意味について、その右側に書かれた日本語が適当であれば○、誤りであれば×をそれぞれ記せ。

- | | | |
|----------------------|-------|----------------------|
| 1. <i>allargando</i> | | (次第に幅広く) 次第に、遅めながら強く |
| 2. <i>giocoso</i> | | 野生的に激しく |
| 3. <i>elegiaco</i> | | 悲しみを訴えるように |
| 4. <i>una corda</i> | | 弱音ペダルを使用しないで |
| 5. <i>più Lento</i> | | きわめて速く |

V. 次の音階を、与えられた譜表上に全音符で、1. 2. は調号を用いて、3. 4. は調号を用いずに記せ。

(ただし、主音から主音まで、上行形のみ)

- | | | |
|----|---|-------------------------|
| 1. |  | を下属音とする長調の音階 |
| 2. |  | を導音とする短調の属調の旋律短音階 |
| 3. |  | を属音とする長調の下属調の音階 |
| 4. |  | を音階の第vi音とする長調の平行調の和声短音階 |

VI. 次に指定する和音を、1. ~ 3. は下線で指定された調の調号を用い、4. ~ 6. は調号を用いずに、与えられた譜表上に全音符で記せ。

1. E dur (ホ長調) のIV
2. c moll (ハ短調) の下属調のII₇
3. B dur (変ロ長調) の同主調のV₇
4. E_{is} (嬰ホ) を第3音とする長三和音
5. F (へ) を根音とする減五短七の和音
6. D_{is} (嬰ニ) を第5音とする短七の和音

VII. 次の1.～4.の和音について、文中の(a)・(b)に該当する調名(ドイツ語または日本語)または和音の音度記号を、(例)にならって記せ。

(例) 1. 2. 3. 4.



(a) (b)

(例)は、G dur (ト長調)の同主調のIVであり、f moll (ヘ短調)の属調のIである。

1. は、Es dur (変ホ長調)の下属調の(a)であり、(b)の平行調のIIIである。
2. は、g moll (ト短調)の属調の(a)であり、(b)の平行調のIVである。
3. は、a moll (イ短調)の同主調の(a)であり、(b)の属調のVI₇である。
4. は、f moll (ヘ短調)の平行調の(a)であり、(b)の下属調のII₇である。

VIII. 次の楽譜について

1. (A)および(B)の調名を記せ。
2. (A)を調号を用いずに短3度高く移調せよ。
3. (B)を調号を用いて fis moll (嬰ヘ短調)に移調せよ。



楽典

昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部(2025年度・一般)

I.

(イ) _____ (ロ) _____ (ハ) _____ (ニ) _____ (ホ) _____

II.

(イ) _____ (ロ) _____ (ハ) _____ (ニ) _____ (ホ) _____

(A) _____

(B) 

III.

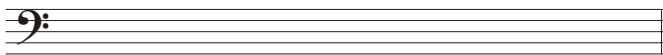
(イ) _____ (ロ) _____ (ハ) _____ (ニ) _____ (ホ) _____

IV.

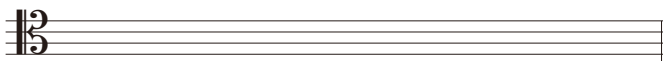
1	2	3	4	5

V.

1. 

2. 

3. 

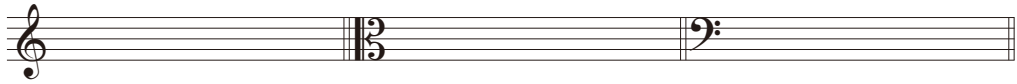
4. 

VI.

1.

2.

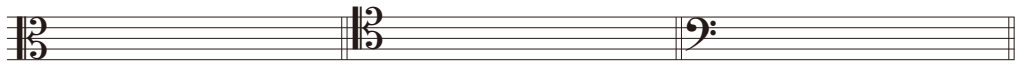
3.



4.

5.

6.



VII.

1.

2.

3.

4.

(a) _____

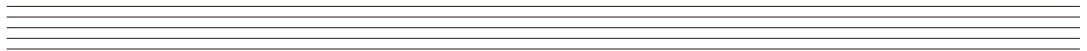
(b) _____

VIII.

1.

(A) _____ (B) _____

2.



3.

